

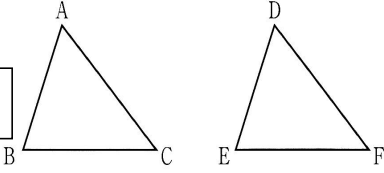
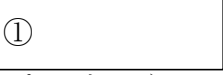
— 合同な図形について成り立つことをまとめよう — p. 102~103

学習日 月 日

年 組 番 氏名

1 次の文の空らんをうめなさい。(p. 103)

下の図の△ABCと△DEFのように、一方を移動させることによって他方に重なり合わせる事ができる2つの図形は



であるという。

合同な図形では、



は等しい。

△ABCと△DEFでは、

AB = ③, BC = ④,

CA = ⑤, ∠A = ⑥,

∠B = ⑦, ∠C = ⑧

△ABCと△DEFが合同であることを、

合同の記号 ⑨ を使って、

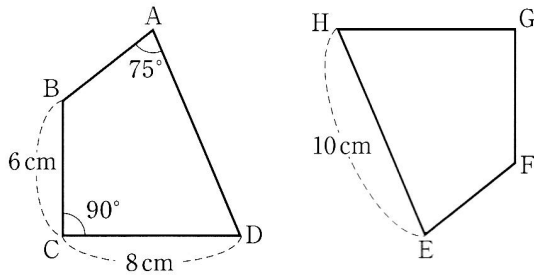


と表す。

2 下の図で、

四角形ABCD ≡ 四角形EFGH

である。次の問に答えなさい。(p. 103)



(1) 頂点Aに対応する頂点を書きなさい。

答 _____

(2) 辺AD, FGの長さを書きなさい。

答 AD _____, FG _____

(3) ∠E, ∠Gの大きさを書きなさい。

答 ∠E _____, ∠G _____

3 次の条件を満たす△ABCを、コンパスと分度器(または三角定規)を使って書きなさい。また、三角形が1つに決まらないものはどれか、1つ選びなさい。(p. 104)

(1) AB = 6 cm, BC = 5 cm, AC = 4 cm

(2) AB = 6 cm, BC = 5 cm, ∠B = 45°

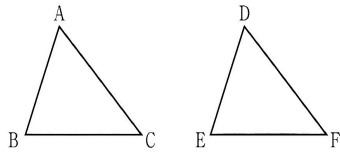
(3) BC = 5 cm, ∠B = 45°, ∠C = 60°

(4) BC = 5 cm, AC = 4 cm, ∠B = 45°

答 三角形が1つに決まらないもの

1 次の文の空らんをうめなさい。(p.103)

下の図の△ABCと△DEFのように、一方を移動させることによって他方に重なり合わせる事ができる2つの



図形は

① 合同

であるという。

合同な図形では、

② 対応する線分や角

は等しい。

△ABCと△DEFでは、

AB = ③ DE , BC = ④ EF ,

CA = ⑤ FD , ∠A = ⑥ ∠D ,

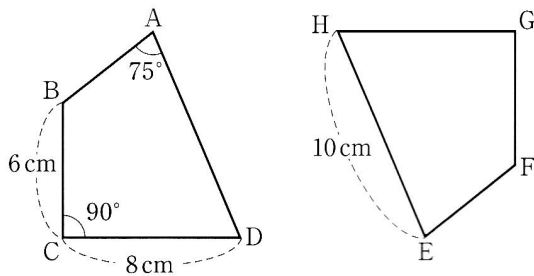
∠B = ⑦ ∠E , ∠C = ⑧ ∠F

△ABCと△DEFが合同であることを、

合同の記号⑨ ≡ を使って、

⑩ △ABC ≡ △DEF と表す。

2 四角形ABCD ≡ 四角形EFGH



(1) 頂点Aに対応する頂点を書きなさい。

答 頂点E

(2) 辺AD, FGの長さを書きなさい。

答 AD 10 cm , FG 6 cm

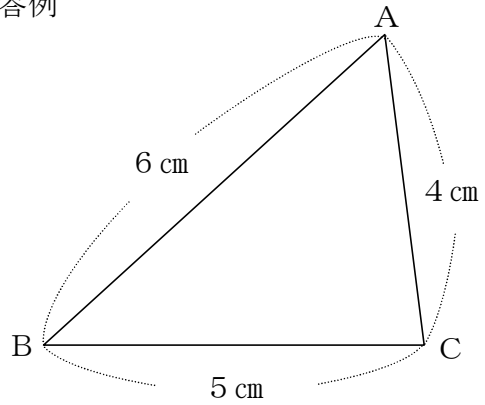
(3) ∠E, ∠Gの大きさを書きなさい。

答 ∠E 75° , ∠G 90°

3 次の条件を満たす△ABCを、コンパスと分度器(または三角定規)を使って書きなさい。また、三角形が1つに決まらないものはどれか、1つ選びなさい。(p.104)

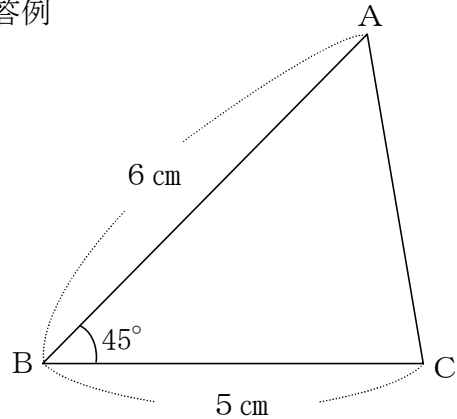
(1) AB = 6 cm, BC = 5 cm, AC = 4 cm

解答例



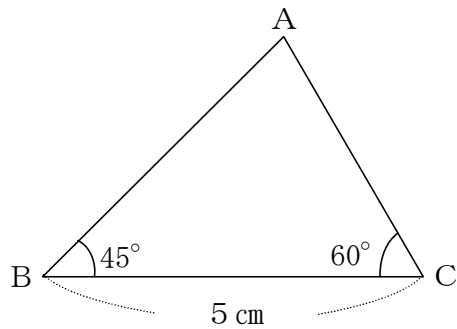
(2) AB = 6 cm, BC = 5 cm, ∠B = 45°

解答例



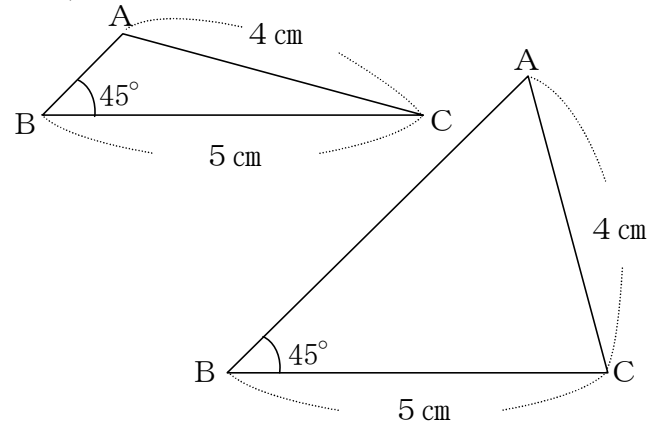
(3) BC = 5 cm, ∠B = 45° , ∠C = 60°

解答例



(4) BC = 5 cm, AC = 4 cm, ∠B = 45°

解答例



答 三角形が1つに決まらないもの (4)